

2025 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社秀英予備校  
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 武  
 (コード：4678、東証スタンダード市場)  
 問合せ先 取締役経理部長 紅林 信宏  
 (TEL. 054-252-1792)

## 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 18 日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

2026 年 3 月期第 2 四半期において、特別損失 132 百万円を計上いたします。主な内容は以下のとおりとなります。

当社では、成長戦略の一環として、校舎の適正配置を図るため、スクラップ&ビルドを推進しております。当社の北海道の拠点校 1 校舎におきましては、2027 年 5 月が賃貸借契約の終了になっております。現状、家賃負担が重いこともあり、契約満了に向けて、現在の生徒が継続して通塾可能な移転先を近隣にて模索しておりました。この度、現校舎近辺の好立地な新設物件における賃貸借契約の条件等がまとまったことにより、2026 年 3 月移転の意思決定をいたしました。それに伴い、現校舎における退去から契約満了までの非営業期間（2026 年 3 月～2027 年 5 月）の賃借料が発生するため「校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額」を特別損失として計上いたします。ただし、今回の移転により賃借料だけで年間 83 百万円の減少と大幅なコスト削減が可能となり、2027 年 3 月期以降、利益貢献できる予定であります。

#### 2. 業績予想の修正について

(1) 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）（累計）連結業績予想数値（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

|                                                    | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に<br>帰 属 す る<br>中 間 純 利 益 | 1 株 当 たり<br>中 間 純 利 益 |
|----------------------------------------------------|-------|---------|---------|--------------------------------|-----------------------|
|                                                    | 百万円   | 百万円     | 百万円     | 百万円                            | 円 銭                   |
| 前 回 発 表 予 想 ( A )                                  | 4,875 | △335    | △330    | △355                           | △52.90                |
| 今 回 発 表 予 想 ( B )                                  | 4,875 | △341    | △336    | △493                           | △73.47                |
| 増 減 額 ( B - A )                                    | 0     | △6      | △6      | △138                           |                       |
| 増 減 率 ( % )                                        | 0.0   | —       | —       | —                              |                       |
| (ご参考)前期第 2 四半期(中間期)実績<br>(2025 年 3 月期第 2 四半期(中間期)) | 4,873 | △260    | △253    | △289                           | △43.18                |

(2) 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

|                                          | 売 上 高  | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に<br>帰 属 す る<br>当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 |
|------------------------------------------|--------|---------|---------|--------------------------------|-----------------------|
|                                          | 百万円    | 百万円     | 百万円     | 百万円                            | 円 銭                   |
| 前 回 発 表 予 想 ( A )                        | 10,880 | 440     | 445     | 355                            | 52.90                 |
| 今 回 発 表 予 想 ( B )                        | 10,880 | 412     | 417     | 200                            | 29.80                 |
| 増 減 額 ( B - A )                          | 0      | △28     | △28     | △155                           |                       |
| 増 減 率 ( % )                              | 0.0    | △6.4    | △6.3    | △43.7                          |                       |
| ( ご 参 考 ) 前 期 実 績<br>( 2 0 2 5 年 3 月 期 ) | 10,693 | 386     | 397     | 298                            | 44.42                 |

(3) 修正の理由

売上高におきましては、6 月に実施した「公開実力テスト」において小 4～6、中 1～3 の外部一般生も順調に集まり、その後の夏期講習へ多くの生徒が継続しております。結果として、生徒数は計画どおり推移しておりますので変更ありません。

営業費用におきましては、2026 年 3 月期第 2 四半期以降、計画外の影響額として上記の移転における初期投資費用 14 百万円及び移転先物件の賃借料 14 百万円 (2025 年 8 月～2026 年 2 月) が 8 月以降にて発生いたします。これに伴い、営業費用は第 2 四半期、通期においてそれぞれ 6 百万円、28 百万円が増加することとなります。

特別損失におきましては、『1. 特別損失の計上について』にて記載のとおり、2027 年 3 月期以降の利益改善を目的として特別損失 132 百万円を計上するところであります。

この結果、2026 年 3 月期の連結業績予想は第 2 四半期、通期において売上高の修正はないものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益及び当期純利益を上記のとおり修正いたしました。

(4) 配当予想

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、配当につきましては安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みではありますが、2027 年 3 月期以降の利益を増加させる施策であると捉えております。したがって、2026 年 3 月期の年間配当予想につきましては、2025 年 5 月 8 日に公表した 1 株当たり 10 円から変更ありません。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は、本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上